

2017

JAしまねびより

9

September Vol.18

特集

島根のいいもの再発見!! 「雲南市プレミアムつや姫 たたら燐米」 雲南地区本部



Yasumiichi
福直

雲南市に飛来したコウノトリ

島根には誇れる農産品がたーつくさん！
島根のいいものの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー



東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

【雲南市プレミアムつや姫 たたら焰米】

9月は、雲南地区本部。雲南市でブランド米「プレミアムつや姫 たたら焰（ほむら）米」の生産に携わる、つや姫マイスター 渡部彰夫さんにお話しをお伺いしてきました。



たたら焰米とは、どのよ
うなお米ですか？

農薬や化学肥料を減らした特別栽培米のつや姫をさらに厳選、こだわり抜いたブランド米です。鉄分を多く含んだ専用肥料による土作り、米粒選別を1.9ミリ以上と大粒に均一、一等米かつタンパク値が一定の基準を満たす。以上の3つの要件を満たした最高級のお米を「プレミアムつや姫 たたら焰米」として出荷しています。雲南市管内では、昨年度からプレミアムつや姫としての生産を始め、35人で約39ヘクタール作付けしました。今年度はさらに増え、現在54人で約76ヘクタールでブランド米「たたら焰米」としての出荷を前提とした作付けを行なっています。



ブランド米を作るきっかけは何だったのですか？

隣の奥出雲町には全国的にも知られる仁多米があります。平成30年には国策としての生産調整廃止など、めまぐるしい変化が予想される中、今までと同じ米作りでは地域の農地が維持できないと危機感を抱いてきました。ここ雲南市独自のブランド米を作り、競争の激しい時代でも一定の価格を維持できるお米作りをしようと決意したのがきっかけでした。県や市、JAの方に全面的に協力してもらい、仁多米に匹敵する美味しいお米を作ろう、と取り組みを始めたところです。



栽培をしてみた感想はいかがですか？

つや姫自体が、コシヒカリに比べ稲が硬くしつかりしているのが、倒伏する心配が減ったのが一番の魅力です。ブランド米として出荷するために栽培計画書を春に作成し、肥料や農薬の散布量など細かく定め栽培します。その後の労力は普通のお米作りと大差はないように思えますが、ブランド米は一等米のなかでも最高級の出来のものなので、肥培管理や水管理など細心の注意を払っています。昨年は39ヘクタールで約5,600袋(1袋30キロ)収穫、そのうちの約4,000袋が



1等米、さらにその中から、たたら焰米の条件を満たしたものが約1,300袋でした。作付けしたうち2〜3割が最高級ブランド米として基準を満たしました。試行錯誤しながら品質の向上をさらに図っている最中で今年はさらに増えると見込んでいます。



たたら焰米の評判はどうですか？

たたら焰米の認知度向上のため、積極的にPR活動を行っています。地域の祭りなどに出席し、米の試食販売をしています。「食感が良く甘みもあって美味しい！」など食べ



た方の感想が高評価で喜んでいます。たたら焰米は、つや姫の1等米の中でも最高級のお米です。粒張りが良く、冷めてからも非常に美味しいお米。粘っこくて、噛めば噛むほど味が出るという言葉が似合う、自信を持ってオススメできるお米です。

今後の展望や抱負を聞かせてください。

競争の時代を生き抜いていくには、特色のあるブランド米やエコ米は一定の価格を維持してお米を出荷できる有効な手段だと考えます。つや姫は特別栽培米なので栽培が大変だと思われる方もいるかもしれませんが、仲間からは「申請書類の準備に時間は掛かるが、計画さえできれば後はその基準に従って栽培することで、付加



価値の付いたお米になる」と前向きな意見を聞きます。栽培規模はまだ少ないですが、本格的に取り組んで2年目なので経験をさらに積んで、なるべく早く雲南市のブランド米として定着させ、たくさんの方の農家の皆さんに栽培してもらいたいのです。



たたら焰米 一口メモ

島根県では、平野部を中心に品質が低下しているコシヒカリに替わる県奨励品種として、山形県で育種された新しい良食味品種「つや姫」の本格栽培を平成24年から開始している。なかでも、渡部さんは県が認定する、美味しく・高品質な「つや姫」づくりのモデルとなる生産者「つや姫マイスター」として認定され、栽培技術の研さんを図りながら、地域全体の品質向上に積極的に取り組んでいる。昨年度に引き続き一定区画で元肥の量を変え、タンパク値の変化を探る試験栽培など、つや姫の品質向上への取り組みを先導的に行なっている。



雲南

男性対象の料理教室 夏バテ予防の料理学ば

雲南地区本部は8月4日、奥出雲町の八川コミュニティセンターで、男性を対象にした料理教室「押忍（おっす）！男気料理塾」を開催。地元の20代から70代の男性12人が、地元産の旬の夏野菜などを使った料理に挑戦しました。

講師には、料理研究家、食結（しょくむすび）企画の土井小百合代表を招き、包丁の扱い方や調理方法のポイントなどを学びながら慎重に調理しました。土井さんは「夏はそうめんのみなどあっさりした食事になりがち。肉やトマトを入れて栄養のバランスを取りましょう」と話しました。

料理は、塩トマトそうめん、トマトと豆腐の酸辣湯、フルーツポンチ、しっとり鶏のシノみそ添えなど計6品を完成させ、参加者は「新しい出会いがあり、仲間が出来ました」「認知症を予防する面からも、積極的に参加したいです」と話しました。



土井さんに教わりながら調理する参加者

くにびき

地域の安全意識の向上へ 高齢者安全安心サポート隊を委嘱

くにびき地区本部は8月4日、犯罪や事故から高齢者を守る「高齢者安全安心サポート隊」の委嘱状を松江警察署から交付されました。JALまね管内での委嘱は初で、訪問日での注意喚起や店頭でのポスターを通じて、高齢者の犯罪被害防止につなげます。

安心安全サポート隊は、高齢者自身の安全意識の向上を目的に、松江警察署が、高齢者と接する機会の多い事業所に委嘱しています。

交付式では、松江警察署の榊原優二署長が、県内の事件・事故件数は減少傾向だが、高齢者が被害に遭う割合が高い点を指摘。「地域に密着されている皆様には、日々の業務の中で、地域の安全意識の向上に努めてもらいたい」と話し、役職員17名に委嘱状を手渡しました。

委嘱状を受け取った栗原令本部長は「重大な課題と認識している。窓口業務での助言、ポスター等の掲示を通じて、高齢者の犯罪被害の防止をサポートしていく」と決意を述べました。



委嘱状を受け取る栗原令本部長（左）

隠岐

夏の夕市で賑わい

隠岐郡隠岐の島町の隠岐島文化会館で8月9日、同会館の駐車場の特設会場で夏の夕市が開催されました。夕市には、隠岐地区本部管内の農産物生産者や関係者によりお盆の準備等で使われるホオズキや榊をはじめ、ぶどう、西瓜、メロン、茄子、海産物では岩モズク、冷凍の魚など色とりどりの品物が並べられました。

夕方5時30分からの販売となっていましたが、商品の数に限りがあることもあって、商品を買って求めて集まった来場者は待ちきれない様子で販売時間が来るのを待っていました。販売開始とともに約100人の来場者が目当ての商品をさがして一斉に買い求め、販売開始後30分で夕市が終了となりました。夕暮れ時の短い時間ではありましたが、夏の賑わいを感じることができました。



やすぎ

基礎から実践まで 農産加工講座が好評

農産加工品の競争力を高め、生産者の技術力を上げようと、安来農林振興協議会が主催する農産加工講座が今年も好評です。2014年度からやすぎ地区本部の直売部会員を対象に実施。基礎から実践までを学べるとあって、今年は約20人の部会員が参加しています。

7月に2回開催し、松江保健所から講師を招いて、農産加工に必要な衛生管理と食品表示について学び、グラフィックデザイナーの野々内政美（有）ノード社長からは、売れるために必要なパッケージデザインについて学びました。

今後は漬け物コンクールや実践研修としてジャム作りも行う予定で、生産者の更なるスキルアップを目指します。



パッケージデザインを学ぶ生産者

斐川

ひかわ女の夏まつり開催

出雲市斐川町の斐川文化会館で8月8日、斐川地域の女性農業者などで組織されている「アグリレディースネットワーク・ヒロイン」が主催する「第23回ひかわ女の夏まつり」が開催されました。「女性が主役」をキャッチフレーズに、企画から当日の運営まで全て会員が行っています。

この日は、会員が作った「焼きそば」「ヒロイン寿司」「炊き込みご飯」「トマトケチャップ」なども販売され、舞台ではフラダンスやカラオケ、日舞、よさこいなど日頃の活動の成果が各団体により披露されました。また、JAしまね斐川女性部とJA職員のコラボレーションで「人間っていいな」の曲に合わせ「スコップ三味線」を披露しました。

後半では、今年入組した新入職員2人がJAバンクのマスコットキャラクター「ちょリス」と激しく演奏する場面もあり、会場は大いに賑わいました。フィナーレでは来賓として出席した山根本部長、飯塚女性部長も参加し、斐川地区本部から提供した「飴」で「飴まき」が行われました。



会場を盛り上げる新入職員

石見銀山

天領さん正調踊り ～おおだ食フェス

JAしまね石見銀山女性部とJA石見銀山地区本部職員26人が8月6日に、大田市で開かれた祭「第37回天領さん」の正調踊り部門に出場しました。揃いの浴衣、JAロゴ入り法被を身に付け、一糸乱れぬ踊りを披露しました。

また、JAしまね石見銀山青年連盟が、当日開かれた「おおだ食フェス」に参加。8人の盟友が集まり、親鳥の炭火焼き、トマトとブドウのスムージーを出店し「食」を通じて祭りを盛り上げました。

JAでは、女性部と職員が合同で毎年地域の祭りに参加し、地域振興に取り組んでいます。



楽しく踊る女性部と職員

隠岐 どうぜん

シャーラ船流し

隠岐どうぜん地区本部管内の隠岐郡西ノ島町で8月16日、お盆を迎えた先祖の霊を地域毎に造った精霊船（3～8m）の帆に盆旗を結び、供物を載せて送る「シャーラ船流し」が盛大に行われました。

この伝統的なシャーラ船は、以前は中学生が中心となって竹、麦わら、稲わら等を集め、大人の指導を受けながら造ってきましたが、近年は材料の入手が難しく、子供の数が少なくなったことで、取り組みの様子も大分変わってきました。



それでも、先祖を偲ぶ心と隠岐の夏を代表する風物詩として、大事に受け継がれています。



出雲

「第12回出雲神話まつり」 出雲盆踊りにJA職員も参加

出雲神話まつり振興会と同実行委員会主催の「第12回出雲神話まつり」が8月11、12日の両日開かれ、11日の「出雲盆踊り」に出雲地区本部の若手職員が参加しました。入組1・2年目の19人の職員は色鮮やかなそろいの浴衣を着て、踊りながら今市町のくにびき中央通りを練り歩きました。

「出雲盆踊り」には、同JA女性部の今市・四絡・荒茅支部の部員も参加するなど33団体、約1,000人が参加しました。団体ごとに衣装を揃え、市内各地区の特色を盛り込んだ唄に合わせて踊り歩き観客を楽しませました。

12日には大津神立河川敷公園で花火大会も行われ、約8,000発の花火が出雲の夜空を彩りました。



出雲盆踊りを踊る職員

西いわみ

地元高校生が特裁米のネーミングとロゴマークのプレゼンに挑戦

吉賀米推進協議会（会長吉村諭）は7月26日、鹿足郡吉賀町有飯の六日市温泉ゆららで、同協議会が生産する「吉賀米（よしかまい）」の「ネーミング・ロゴマークプレゼン大会」を開催し、地元高校生がプレゼンに挑戦しました。

同協議会は、農薬や化学肥料を県の基準の半以下に抑えながら、清流高津川の源流地で、安全で安心な米作りに取り組んでいます。生産された米は大阪市内の米穀店などで販売されていますが、産地間競争が激化し他産地との差別化が必要となったため、新たな名称とロゴマークを作成しブランド化を図ることとしました。生産者だけでなく地元が一丸となった取り組みとするため、町の未来を担う地元高校生にアイデアを募集したところ、ネーミング54点、ロゴマーク30点の応募がありました。協議会役員やJAなどの関係機関で一次審査を行い、それぞれ3点ずつを選出し、同大会でプレゼンを行いました。

プレゼンを見た吉村会長は「私達生産に関わる者の固定観念を覆し、第三者から見た新鮮な考え方や感性が作品に込められていてとてもよかった」と話しました。



島根おおち

役職員大会・職員研修を開催

島根おおち地区本部は8月5日、29年度役職員大会を開催し、コンプライアンス・人権研修を行いました。

同地区本部では、毎年2回役職員大会を開き、全職員を対象にした職員研修を行っています。今回は、本店リスク管理部職員による組合活動に関する独占禁止法の取扱いについてのコンプライアンス研修と、DVDによる人権研修を行いました。

また今回の役職員大会では、教育評論家の野々村直通氏を招き「企業の強育論」と題した講演を行いました。野々村氏は、企業を学校と置き換えて、自身の学校現場での教育方針や指導の仕方など長年の教育現場での経験談などを話されました。講演のなかで、簡単に犯罪を行ってしまう近年の青少年について、小さい頃からの教育が大切であり、叱らず褒めるばかりの現在の教育方針は見直す必要があるのではないかと指摘されていました。

講演を聞いた職員は「野々村先生のこれまでの経験談が聞けて大変勉強になった。今後組織としての指導法等について自身に振り返って考えていきたい」と話しました。



講演を行う野々村氏

本店

コメ政策の大転換と水田農業のあり方を考える学習会を開催

県や農林漁業団体などで構成する「食料・農林漁業・環境を考える島根県民フォーラム」（鎌田憲男代表）は8月22日、出雲市のラピタ本店で第12回学習会を開きました。約170人が参加し、30年産からのコメ政策見直しに伴う今後の水田農業のあり方等について考えました。

基調報告で県農林水産部・長野正己農産園芸課長は、全国や県内の米の需要動向等にふれた後、売れる米づくりに向けた「島根米レベルアップ推進プロジェクト」の取り組みや飼料用米、水田放牧などに関する県の取組方針を説明しました。

パネルディスカッションでは、岡田浄・浜田市弥栄支所産業建設課係長、小村正・農事組合法人まめなかファーム新田後代表理事長、金山功・農事組合法人須摩谷農場事務局長、坂本忍・JAしまね常務理事をパネリスト、基調報告を行った長野課長を助言者、平塚貴彦・島根大学名誉教授をコーディネーターとして、取組報告などを通じて、今後の水田農業のあり方と課題・対策について考えました。会場からは、具体的な方法や将来展望などの質問もあり、水田農業に対する関心の高さがうかがわれました。



意見を交わすディスカッション参加者

いわみ中央

JAふれあいの集い2017～地域とともに～

いわみ中央地区本部は8月19日、浜田市の石央文化ホールで「JAふれあいの集い2017」を開催しました。来賓に浜田市長をはじめ県議会議員らを招いて、総勢650人の参加で盛大に開催しました。

今年度は「地域とともに」をテーマにかかげ、午前の部では「家の光から生まれる協同の心を伝える」として、家の光記事朗読やJA女性部による家の光記事活用体験発表等を行いました。また、安来のおじコンサートも行い、独特な出雲弁で、参加者は終始和やかな雰囲気の中でコンサートを楽しんでいました。

午後の部は、ダンスチーム「メイヒップホップスペシャルダンスユニット」のヒップホップダンスで幕開け。舞台は、大会のメインであるJA女性部と職員のふれあいのステージで盛り上がりました。最後にはお楽しみ抽選会も行いました。

この大会を契機に、更に強いつながりと絆が生まれ、10年後もJAしまねが、そしていわみ中央地区本部が元気ですと言えるよう願って、参加者全員で農業協同組合歌「明日の大地に」を合唱しました。お帰りの際には、「ケイトウの花を植え花貯金をしよう!」を活動テーマにして女性部が栽培したケイトウの花を一人一人に手渡ししました。



基本方針

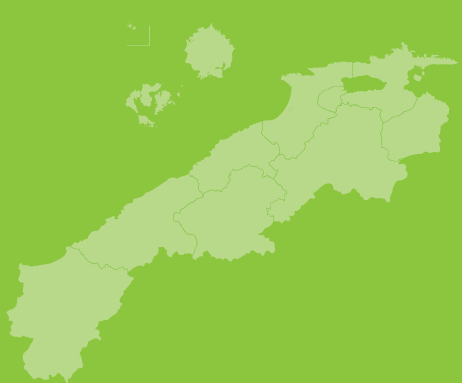
現在、JAしまね管内は人口減少や超高齢社会の到来、農業者の高齢化等による農業生産基盤の急速な脆弱化などの厳しい環境の下にあります。

このようななかで、平成27年3月1日に自己改革を先取り、実践する形でJAしまねがスタートし、2年が経過しました。

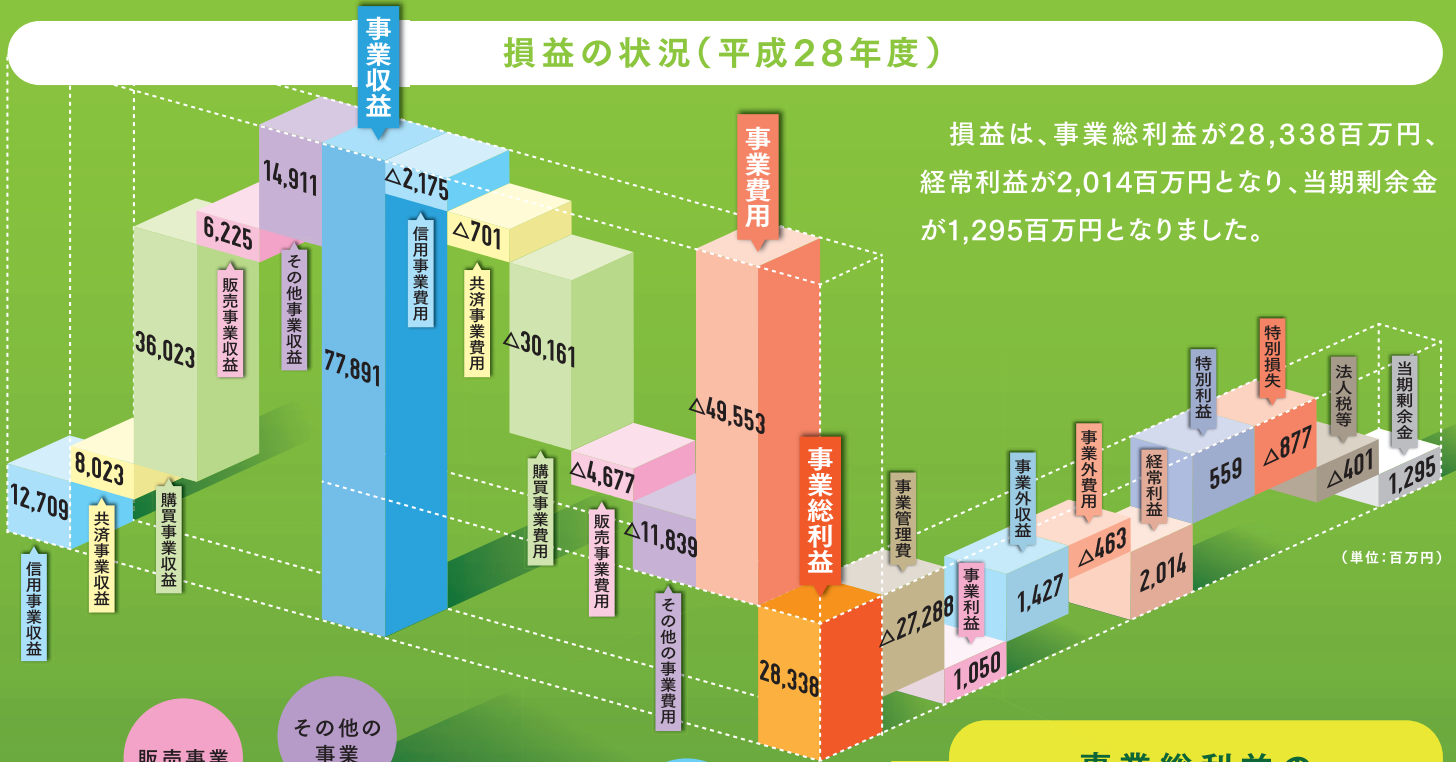
今後も、JAしまねとして農業振興、地域振興、農業・農村の多面的機能発揮において、一層重要な役割を發揮し続けるためには、総合農協として各事業を持続的に展開させるとともに、農業者・地域住民と一体となった協同活動に取り組まなければなりません。

こうした取り組みを通じて、「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域社会の実現」「協同組合としての役割發揮」をめざします。

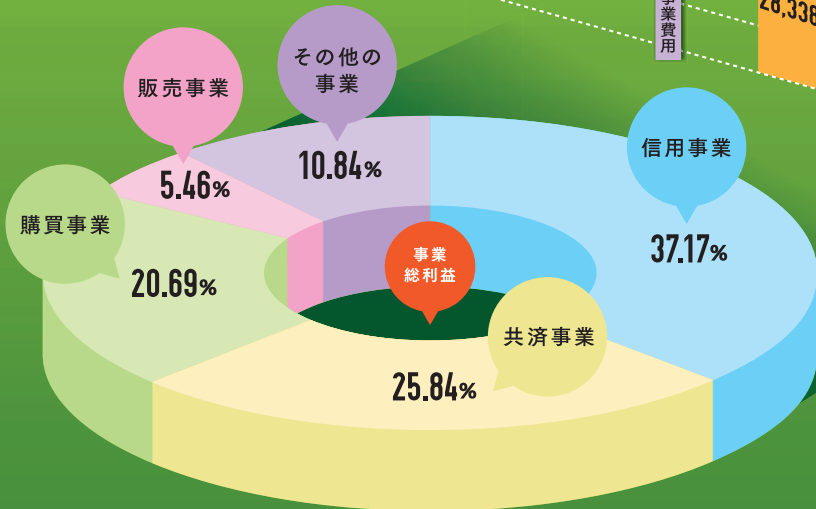
また、本店と地区本部との連携や重複する機能・機構の整備・効率化など今後も自己改革を実践しつつ、引き続き農業者・地域住民のニーズに応えるため、JAしまね各事業の総力を結集し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に取り組む、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」の確立をめざします。



損益の状況(平成28年度)



損益は、事業総利益が28,338百万円、経常利益が2,014百万円となり、当期剰余金が1,295百万円となりました。



事業総利益の増減要因

事業総利益に占める各事業の割合

2 事業別業況(平成28年度)

農業関連事業

購買事業(生産資材)

肥料・農薬・飼料について水稻肥料・農薬の銘柄統一や値下げ等を通じ、低価格による供給を進めた結果、生産購買品供給高は13,007百万円となりました。



販売事業

平成28年産米から島根米の買取制度の導入、また畜産等の品質向上対策や購買者誘致に継続的に取り組んだ結果、販売品販売・取扱高は38,259百万円となりました。



生活関連事業

購買事業 (生活物資)

地産地消を基本に「安全・安心・新鮮」にこだわったJAらしい店舗運営、また県下統一企画で自動車等の「合併1周年記念セール」を展開した結果、生活購買品供給高は21,084百万円となりました。



共済事業

共済渉外担当者(LA)を中心とした3Q訪問活動による保障ニーズに即した提案活動、支店共済担当者(スマイルサポーター)による迅速・丁寧な窓口対応、次世代層への出産育児を応援する「JAしまね こども倶楽部」の普及に努めた結果、長期共済保有高が3,659,406百万円、年金共済保有高が20,570百万円となりました。

信用事業

組合員・利用者のニーズを踏まえた各種キャンペーンや新商品の投入など、農業と地域利用者をつなぐ金融サービスの提供に取り組んだ結果、貯金が期末残高994,007百万円、貸出金が期末残高308,072百万円となりました。



3 農業振興活動



農業振興支援事業での持続的営農への支援

平成28年度は、5.5億円の予算化を行い担い手の規模拡大や複合型営農の促進、新規就農者の初期投資の軽減対策を実施しました。

特に、島根県農業の基幹である和牛子牛の増頭対策では当初の増頭計画を超える繁殖母牛の導入、デラウェアでは優良系統への改植による持続的産地への支援、担い手の複合型営農形態の促進に向けた園芸品目の普及対策を実施しました。

また、JAしまねによるリースハウス・リース園地のリース料負担軽減対策を実施し、規模拡大や新規参入の促進を支援しました。

4 地域密着型金融への取り組み

子育て応援宣言

平成28年10月より「子育て応援宣言」として、「地域の活性化」「子育てしやすい環境」を目指し、住宅ローン・マイカーローン・教育ローンで子育てを頑張る皆様に全力サポートしています。

住宅ローンでは、「子育て応援サービス」としてお子様の人数に応じた金利引下げを実施し、多くの方にご利用いただいています。そして、マイカーローン・教育ローンでも、金利および引き下げ内容の見直しを行いました。

また、貯金商品では18歳以下のお子様がいらっしゃる方を対象とした金利上乗せ定期積金をご用意しています。

住宅ローン
子育て応援宣言

- 上限金利付を「で安心!」
利率のご変更が分からないという不安を解消し、安心してご利用いただけます。
- 子育て世代を「応援!」
お子様の人数に応じて金利を引けます。当初の特約期間中にお子様の誕生された場合は、もちろんご変更もいただけます。
- 保証料金利組込タイプ「がご利用いただけます!」
保証料を金利に組込んで、総返済額を軽減できます。
- ※最高10万円分のJCBギフトカードプレゼント
- ※他金融機関からの返済滞り等の金利からさらに金利を引下げします!

JAしまね本部 電話相談 TEL: 0852-35-6032

2017 DISCLOSURE

ディスクロージャー誌の本冊ではJAの経営内容や事業所の配置図など、JAの詳しい情報をご紹介します。ご要望の方には、信用店舗にて無料配布しております。また、JAしまねウェブサイトでも閲覧いただけます。

ウェブサイト <http://ja-shimane.jp/disclosure/>



JALまね PROFILE

設立	平成27年3月1日
本店所在地	島根県松江市殿町19-1
出資金	227億円
総資産	1兆1,044億円
単体自己資本比率	15.21%
組合員数	232,661人
役員数	74人
職員数	3,644人
事務所数	202

農業者年金へは、次の要件を満たす方ならどなたでも加入できます

国民年金第1号被保険者
国民年金保険料納付免除者を除く。

年間60日以上農業に従事

60歳未満

●あなたの老後生活への備えは十分ですか？
●年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。
●老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です。

途中脱退、再加入も可能です

農業者年金
で安心して豊かな老後を！

ポイント2
若年層には手厚い政策支援
(保険料補助)

加入前
後継者を早く独立させたいなあ

加入後
早い時期から加入させて良かった！

国民年金第1号被保険者等の農業者年金への加入要件に加え、
●39歳までに加入
●農業所得が900万円以下
●認定農業者で青色申告者等を満たせば受けられます

農業者年金 6つのポイント

- 積立て方式で安心
- 加入・脱退も自由
- 保険料は全額社会保険料控除
- 保険料はいつでも変更できる
- 農業の担い手には保険料補助
- 終身年金 80歳までの死亡一時金あり

加入前
夫のみ加入の場合

夫婦で加入の場合
加入後

●女性農業者の長い老後をしっかりとサポートします！
●自らの力で老後に安心を！

家族経営協定で保険料補助も

ポイント1
女性に優しい！
奥様も単独で入れます。

ポイント3
税制面で大きな優遇
(ライフプランへの投資減税)

加入前
今年は収入が良かったけど税ってこんなにかかるの？

加入後
保険料を控除できて助かるなあ

●支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象となります

詳しくは…
農業者年金基金 検索 <http://www.nounen.go.jp>

独立行政法人 農業者年金基金 TEL: 03-3502-3199 (相談員) TEL: 03-3502-3942 (企画調整室)
※農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会やJAしまね各地区本部または農業者年金基金にお問い合わせください。

—JA共済からのお知らせ—
住宅等の建物修理に関する**トラブル**にご注意ください

見慣れない修理業者からのこんな言葉・・・

(共済(保険)をつかって)
“自己負担ゼロ”でリフォームができます!

このような勧誘にはご用心ください!
最近、このような業者からの被害が全国的に増加しています!

こんな言葉にご用心!

「お宅の屋根瓦、ゆがんでいますよ。このあいだの台風被害による損傷ですから、共済金(保険金)の支払対象になります。後で共済金(保険金)が支払われるので、お客様の自己負担はかかりません!! このマニュアルどおりに、JAに請求すると共済金が支払われます。もし請求の手続きが面倒であれば、手続きも代行いたしますよ。」

もし、このような業者が来たら、まずお近くの支店までご相談ください。
JAの建物更生共済では、自然災害による被害についてはお支払の対象となる場合があります。支払該当の可否や損害査定についてはJA共済の担当者が調査・査定を実施し、迅速に対応いたします。






取れ立ての 新鮮な味が格別な サヤエンドウ

板木技術士事務所 ● 板木利隆

栽培管理が楽で、失敗も少ないサヤエンドウ。店頭売りでは得られない新鮮さが魅力で、家庭菜園にはぜひ取り入れたい野菜です。

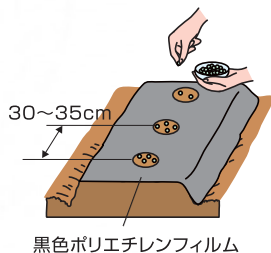
カロテン含有量が多く、分類は緑黄色野菜。ビタミンC、食物繊維も豊富。使い道はサラダや汁の実、煮物にと広く、飽きずに重宝します。育て方のポイントを列挙します。

- (1) 連作畑を避ける。
- (2) まきどきを誤らない。
- (3) 冬に株が風で振り回されないよう仮支柱、風よけを設ける。
- (4) 伸びだしたつるがよく絡むよう、しっかりした支柱を立てることなどです。

サヤエンドウは野菜の中でも特に連作を嫌う性質があります。4～5年はサヤエンドウを作ったことのない畑を選びましょう。

種まきの適期は関東南部以西の平たん地では10月20日前後ですが、これより寒い地域では少し遅く月末ぐらい、暖かい地域では少し早くまくぐらいに差をつけましょう。寒い地域で早まきすると、大きく育ててから厳しい寒さに遭うため寒害を受けやすくなります。地域の慣行をよく調べてください。

サヤエンドウは茎葉が柔らかく、越冬中に株が風に振り回され、茎が折れたり枯死したりしやすいので、草丈が15～20cmに伸びたら短い支柱を交差させて立て、株を固定したり、畝に沿って稲わらを半折れに



黒色ポリエチレンフィルム

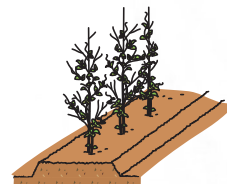


発芽し伸び始めたら2本を残して他は間引く

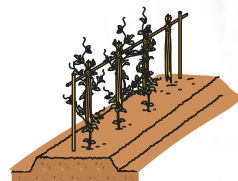
し、下方を土に埋め、簡単な風よけを作ったり、べた掛け資材で覆ったりして寒風から守ってやります。

越冬後草丈が20～25cmぐらいになる頃には巻きひげも出るので、早めに支柱を立て、これに絡ませるようつるを誘引してやりましょう。支柱材としては、細枝のたくさん付いたサヤや、子枝の付いた木の枝などが最良ですが、入手できない場合は、木杭に横竹を渡し、所々に稲わらを小束にしてつるす方法、それらがなければ果菜用の支柱材を立て、横に3段ほどプラスチックひもを渡したり、キュウリの誘引ネット（網目15cm）を取り付けるなど、いろいろ工夫してみましょう。

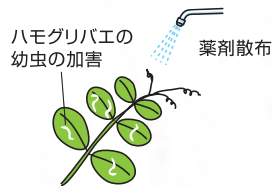
肥料分は多くは必要ないので、前作に野菜を育てた畑なら、越冬前に畝に沿って軽く溝を作り、1株当たり化成肥料大さじ2杯ぐらい、本支柱を立てた後に、畝の反対側に同量を施し、土を盛り上げて畝を形作るぐらいで足りるでしょう。



竹サヤや木の枝のつるを絡ませる



支柱を立て、稲わらをつるし、つるを絡ませる



ハモグリバエの幼虫の加害

薬剤散布

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

JAふれあいの集い2017

～ 地域とともに ～



組合員と地域の皆様そしてJA役職員の絆づくりの大会として開催



いわみ中央地区本部は、8月19日(土)石央文化ホールにおいて『JAふれあいの集い2017』を開催しました。来賓に浜田市長をはじめ県議会議員他総勢650人の参集の中盛大に開催されました。



このJAふれあいの集いは、JA役職員と組合員・地域住民・JA女性部との絆づくりの大会として開催し、今年度は『地域とともに』とテーマをかけた、午前の部では「家の光から生まれる協同の心を伝える」として、家の光記事朗読やJA女性部による家の光記事活用体験発表等が行われました。また、午前の部は、安来のおじコンサートが行われ、独特な出雲弁で、会場は終始和やかな楽しい雰囲気の中でコンサートを

楽しみました。

午後の部の、オープニングは、メイヒップホップスペシャルダンスユニットのダンスチームのヒップホップダンスで幕開けし、kidsダンスの上手さに圧倒され、歓声があがりました。そして、本大会のメインであります、JA女性部と職員のふれあいのステージを披露し、(3B体操や踊り)6地域の女性部がステージに立ち、会場は盛り上がりました。最後にはお楽しみ抽選会もありました。



この大会を契機に、更に強いつながりと絆が生まれ、10年後もJAしまねが、いわみ中央地区本部が元気ですと言えるようお願い、参加者全員で『農業協同組合歌 明日の大地に』を合唱しました。お帰りの際には、女性部が今年の活動テーマとした“ケイトウの花を植えよう”で栽培したケイトウの花を一人一人に手渡ししました。

ふれあいの集い2017

「JA職員と女性部のステージ」



弥栄女性部
「ねぶた」



金城女性部
「南部俵積み唄」



浜田女性部
「錢太鼓」



江津女性部
「3B体操」



三隅女性部
「三隅さんさん歌」



旭女性部
「旭音頭」



8月5、6日の2日間、JAカップ第34回県学童軟式野球大会の浜田地区大会が浜田市野球場で行われました。6日の決勝は、昨年地区代表で県大会優勝チームの浜田市野球スポーツ少年団と三隅少年野球クラブの対戦となりました。この日の浜田市の最高気温は38.5℃と観測史上最高の暑さの中、両チームの選手一人ひとりが全力でプレーし、1点を争う熱戦となりました。

2-2と同点の5回にチャンスをものにし1点を勝ち越した三隅が、高い投手力と堅い守備で1点を守りきり、見事3年ぶり13度目の優勝で県大会出場を決めました。

後日、県大会出場を決めた三隅少年野球クラブには、井上本部長より激励金が贈られました。

JAカップ学童野球
浜田代表は「三隅少年野球クラブ」!

お詫びと訂正

【広報誌8月号】ふれあいニュースの年金友の会金城支部 親善スポーツ大会開催の記事で、GGの部3位入賞者 出葉 聰明 様のお名前が間違っていました。訂正し、お詫び申し上げます。

(誤) 出羽 聰明
(正) 出葉 聰明





教えて野菜作り！

夏野菜、今年もこの話題に！（野菜の交雑について）



○以前、トウガンとスイカを近くに植えると、スイカの糖度が落ちると言われたが、との質問から、野菜の交雑について書いたことがあります。このときは、トウガンとスイカとの交雑があって、収穫したスイカの種は使えませんが、スイカの糖度が落ちることはなく、甘くないのは水分過多の原因が大きいことなどを載せました。

今年も先日、全部黄色のはずが！とのことから交雑の話になりました。黄色のズッキーニの雄花の花粉を、他の緑色のズッキーニの雌花に受粉したら、黄緑色のズッキーニができる？（皆さんはどうでしょう？） そういったことは、ほとんどありません。ズッキーニは、ウリ科のカボチャの仲間というのは、ご存じの方も多いと思います。カボチャ、キュウリ、ズッキーニなどのウリ科は、雄花と雌花のある雌雄異花（しゅういか）という植物に分類され、雄しべの花粉を雌しべに付着することで受粉されます。花粉はミツバチなどによって運ばれます。

先ほどの答えの理由ですが、雌花が形成された時から、雌花の根元には、黄色のズッキーニができています。ズッキーニは、花粉の影響を受けるのではなく、雌花（本体）の影響を受けます。なので、黄色のズッキーニの雌花に、緑色のズッキーニの花粉を受粉しても、黄緑にはなりません。

※その他参考に

○特にスイカとトウガンやカボチャといったウリ科の野菜は交雑しやすい野菜です。花粉を媒介するミツバチの行動範囲が1km以上であることを考えると、離して植えても効果はないかもしれません。それよりも、早朝のうちに人工受粉して、確実に結実させたほうが良いと思います。



また、野菜の中を分類すると、よく耳にされるとと思いますが、ナス科やマメ科といった科に加え、何々属というのを聞かれることがあるかと思いますが。例えば、ユリ科の中でもヒガンバナ属、ユリ属、ネギ属などに分かれ、キク科は、ヨモギ属、フキ属、キク属に分かれます。普段から同じ科の野菜は連作を嫌うといいますが、もう少し詳しく中を見るとこの科の中でもこの属が違えば基本的には交雑はしません、しかしアブラナ科のダイコン属、ワサビ属、アブラナ属に分けられるアブラナ属だけは複雑で、交雑するものもありますので気をつけましょう。

○そのほか代表的なものを載せます。

・ウリ科

スイカとメロンなら交雑しません。しかし、カボチャにメロン・マクワウリ・ソーメンウリなどは、近縁種で交雑する場合があります。

・ナス科

ナス属、トウガラシ属、ホオズキ属、タバコ属などに分かれます。ピーマン、シシトウ、トウガラシは近縁種で、特に辛いものが優勢し、交配するとみんな辛くなってしまいますが、ピーマンは辛くなりません。

・マメ科

マメの中でもソラマメだけは交雑することがありますが、ほかは交雑しません。アズキ、ダイズ、共に自家採種できるものが多いですね。

・花が咲いて受粉しない。他品種との交配の心配もないもの。

ウド、フキ、ショウガ、ウコンなど。

※伝統野菜のように何度も種を採り続けても収穫できるものを、固定種といいます。しかし、黄色の固定種と緑の固定種を近くで栽培した場合、できた種は新たなF1種となります。固定種でなくても黄色のズッキーニに緑の花粉を受粉させると、そこから取れる種は黄色ばかりではなくなってしまいます。病気なども、種に受け継がれるので、感染している種を撒いた場合、全滅してしまいます。このようなリスクを避けるためにも、自家採種は行わない方が良いでしょう。交雑については、平成26年6月号にも載せています。





西部農林振興センターからのお知らせ

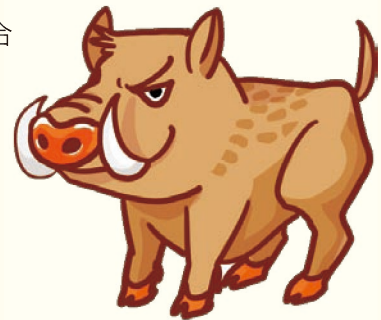
平成29年度秋期狩猟免許試験についてのお知らせ

農作物に甚大な被害をもたらすイノシシは、県内では、1970年頃まで分布も一部に限られ生息数も少ない状況でした。しかし、1985年頃には隠岐島と島根半島部を除く県下全域に拡大しました。

そのような状況下のなか、イノシシに限らず、大事な農作物に被害をもたらす鳥獣からその農作物を守るには、侵入防止柵を設置するなどの予防対策に加え、被害を出している個体を捕獲することも有効な手段です。

しかし、鳥獣を捕獲する目的でわなを仕掛ける場合、自分の農地を守るためであっても基本的に免許が必要です。(猟期以外の期間でイノシシ等を捕獲する場合には、有害捕獲許可を市町から得る必要がありますので、免許取得後は最寄りの支所等に相談して下さい。)

島根県では、毎年、夏と秋に狩猟免許試験を実施しています。「自分の農地は自分で守る！」という意気込みで、ぜひこの機会に狩猟免許を取得してはいかがでしょうか。また、猟友会では試験前には事前講習会の開催を予定しています。この講習会では強面の猟師さんが優しく試験のポイントを教えてください！



狩猟免許試験

日 時：平成29年10月7日(土) 9：00～

場 所：浜田合同庁舎

手数料：3,900円（わな免許の場合）

5,200円（第一種銃猟免許の場合。銃猟の場合は狩猟免許の他に、銃の所持許可が必要です。詳細は最寄りの警察署に相談して下さい。)

狩猟免許事前講習会（秋期は、島根県西部地区においては浜田会場のみ開催）

日 時：平成29年9月17日(日) 9：00～15：30

場 所：石央文化ホール301号室（浜田市黒川町4175番地）

受講料：4,000円

※狩猟免許事前講習会の費用は、市の助成措置を受けられる場合がありますので、詳細は市にご確認願います。

申請の方法やお問合せなど、詳しくは西部農林振興センターまたはお近くの市役所・各支所農林部署まで。

連絡先：島根県西部農林振興センター 林業振興課 TEL：0855-29-5604

産直トビックス

産直きんさい市場

消費者交流会「夏野菜をおいしく食べよう!」を開催



いわみ中央地区本部は、8月9日浜田市(農林振興課)との共催で、同市内の応募者21名の参加で、「夏野菜をおいしく食べよう!」と題して、3つのプログラムで講習会の開催を行いました。

1つ目のプログラムでは、講習と題して講師にいわみ中央産直振興協議会の上野久善さんを招き「おいしい夏野菜づくり」と題して、トマト、キュリ、ナス、ピーマンの栽培の基本を学びました。参加者は、講師のお話を熱心に耳を傾け、参加者からは家庭菜園についての悩み等の質問も出て有意義な講習でした。

2つ目のプログラムでは、ふれあい課、前田課長補佐が今が旬のキュウリ、ナスの「ぬか漬け床づくり」を実践を交えてポイントなどを丁寧に説明し、指導しました。参加者からも分かり易くて大変良かったと感想が述べられました。

最後のプログラムでは、家の光掲載のレシピから「モロヘイヤと鶏肉の甘酢和え」、「やみつきキュウリ」「梅みそ鍋しぎ」の3品をJA女性部スタッフにより料理され、レシピを見ながら、味わいました。



産直店舗 「お盆セール」で賑わう!



産直きんさい市場(黒川店、周布店)、道の駅「サンピコごうつ」、地域交流プラザ「まんてん」の産直店舗では、8月10~15日までの期間、お盆セールを各店舗で開催しました。

全店舗での来場者数は、約12,100人で売上は1,321万円でした。特に10日~13日は、各店舗来場者が急増し賑わっていました。

産直きんさい市場(黒川店、周布店)では、毎年恒例となっておりますJAしまね弥栄肥育センターの和牛の販売も行いました。消費者の方からは、毎年購入しているけど「おいしいよ」とうれしいお言葉もいただきました。

特設テントでは、菊、榊(サカキ)などお盆にかかせない商品を大量に取り揃え売上の半分以上を占めるほどの盛況でした。来店者も地元の方をはじめ帰省客の方も多く野菜の新鮮度、値段の安さに驚いていました。今後もより一層良質な商品の提供に努め、地域の皆様に喜んでいただけるよう努力して行きます。

きんさい市場営農塾 平成28年度(第1期生) 修了式

いわみ中央地区本部は8月29日、JAいわみ中央地区本部ふれあいホールで平成28年度(第1期生)きんさい市場営農塾の修了式を開きました。塾生10名が出席し、代表で大橋 進さんが修了証書を井上宗治塾長から受け取りました。

来賓に、島根県西部農林振興センター浜田農業普及部 秦智秋部長をお招きし、栽培にあたっての農薬使用はラベルを確認し、適正使用を行うよう注意喚起がありました。

今期は14名が入塾し、1年間で座学、実習、優良農家の圃場視察など21回の講義を行い、講義内容の報告をはじめ、研修の様子(スライド視聴)、個々の思いなどを振り返りました。昼食は、自分たちが育てた食材を含め、夏野菜カレー、パンプキンサラダで会食をしました。

最後に、塾生の方から良い思い出ができたので、OB会を発足して1年後に再開を約束して閉式しました。



お買い得品多数展示

秋の総合展示商談会

会場

サンマリン浜田

開催日

平成29年10月20日(金)~22日(日)

開催時間

9時00分~18時00分 / 最終日: 15時00分終了

秋冬衣料・寝具・健康器具
農具・暖房具・墓石・他生活用品

多くのご来場をお待ちしています!

J A からののお知らせ

営農経済センターは 9月29日(金)、棚卸のため午後から休業いたします。

9月30日(土)は農繁期営業日ですが、棚卸のため10月1日(日)に変更し、営業をさせていただきます。

ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。



金城町 Mさん
こんじやくの花?



金城町 坂井 実さん



金城町 坂井 実さん



弥栄町 小谷 悟さん
水牛

サプライズ

梨選果始まる

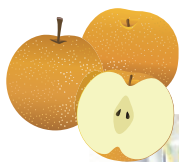


旭梨第二選果場では8月16日より旭町特産「赤梨」の幸水の選果が本格的に始まりました。当日は選果開始前に浜田青果株式会社 弘中常務

ご出席のもと目合わせ会を行い、最初に弘中常務より果樹市場の情報提供をいただき、目合わせにうつりました。赤秀、青秀、優の規格にそって梨の現物確認を行いながら選果基準を確認しました。

本年は梨の生育が若干遅れぎみでしたが梨自体については例年と比べて大玉傾向で糖度も十分のった状態となっています。

8月末まで幸水の選果を行い、9月上旬からは9月末まで豊水の選果を行う予定となっています。



平成29年産米初米検査

いわみ中央地区本部は、8月29日旭ライスセンターにて、今年度初めてとなる米検査を行いました。検査に先立ち、いわみ中央地区本部佐々木豊副部長のあいさつでは、「コンプライアンスを遵守しながら生産者が丹精込めて栽培された米を購入するにあたり、公正かつ円滑な検査を行い、生産者の生産意欲向上に繋げて、スムーズな買入れを行いたい。」と挨拶しました。

初検査には、ハナエチゼン188袋、コシヒカリ7袋の検査を行い、品質面では、着色米等が散見され1等米比率は50%でした。今後は各地区で検査買入れを開始する予定にしています。平成29年産米は集荷目標98,000袋に向け水稻生産部会また、JA役職員を中心に集荷運動に取り組みを行ってまいりますのでご協力をお願いします。



浜田市産ピオーネの出荷はじまる



いわみ中央地区本部管内では久代町（浜田市ぶどう生産組合）、金城町（金城町ぶどう生産者協議会）を中心に栽培面積3.7haでピオーネの栽培が行われています。平成29年7月21日にピオーネが久代町から約40kgの出荷が始まり、24日からは金城町から約60kgが初出荷されました。金城町については昨年より約2週間早い出荷となり、初

出荷されたピオーネは糖度18度以上で、酸抜けもよく、粒張りも優れ、ポリウム感あるピオーネに仕上がっていました。

島根県浜田市では平成26年度に「ピオーネをはじめとする大粒系ぶどう、赤梨、西条柿」を将来、浜田の顔となる農産物に選定しており将来の目標として販売金額が1億円以上となるよう取組を行っています。

今後、久代町では8月上旬、金城町では9月中旬にピークを迎え、島根県内を中心に出荷を行っています。



あぐりニュース

産直きんさい市場黒川店 祝！開店15周年セールを開催



8月8日(火)～9日(水) J A
しまね いわみ中央地区本部、産直
きんさい市場黒川店では、開店15周
年セールを開催しました。セールの
先立ち8日(火) 8時30分より15周
年記念セレモニーを開催。

来賓には、浜田市市長久保田章市氏
をはじめ有限会社ふるさと支援セン
ターめぐみ代表取締役砂田忠氏、未
来販売社長岡村宏氏、いわみ中央
女性部徳田マヌエ女性部長をお招きし開催されました。

あいさつでは、いわみ中央地区本部井上宗治本部長が「地
産地消」をコンセプトとし平成14年8月にオープン、オー
プン以来、出荷農家数、販売高も順調に推移し、地域の皆
様方にも愛され続け15年目の節目を迎える運びとなり、生
産者はもとより利用者の日頃の感謝、更なる産直店舗も存
在意義の向上を目的として運営していく事を約束しました。
続いて、いわみ中央産直振興協議会松本昭二会長は、栽
培履歴の提出で消費者の方への「安心・安全」の農産物を
提供していくとあいさつをしました。

浜田市久保田章市市長より、地元浜田の農産物「BUY
浜田」運動で消費しましょうとの祝辞をいただきました。
今後は、この15周年を
ひとつの区切りとして、
20周年に向け、地域の皆
様に支えていただける店
舗運営を目指して邁進し
ていきます。



第16回いわみ中央種畜共進会



J Aしまね いわみ中央地
区本部は、8月25日に弥栄
肉用牛改良流通センター(浜
田市弥栄町)で第16回いわ
み中央種畜共進会(主催…い
わみ中央種畜共進会運営協
議会)を開催しました。当
日は雨天の中ではありまし
たが畜産農家、関係者約40
名が参加し、熱心に牛を観察しておられました。

共進会には、黒毛和牛6頭が出品され、審査に
西部農林振興センターや(公社)全国和牛登録協
会 島根県支部等4名が行い、審査の結果、浜田
市弥栄町の佐々木祥二さん出品の「みつただ7号」
がみごと特選賞首席に輝きました。

特選賞首席に選ばれた佐々木祥二さん出品の
「みつただ7号」については10月21日(土)に松
江市宍道町で開催される島根県種畜共進会へいわ
み中央地区本部代
表として出品され
ます。

受賞		(敬称略)	
出品者名	地区	出品牛名号	受賞名
佐々木祥二	弥栄	みつただ7	特選賞首席
佐々木祥二	弥栄	しげさかえ8	特選賞二席
流田 忠征	金城	さくら8	優秀賞首席
佐々木祥二	弥栄	はるひらくに	優 秀 賞
長田 長正	浜田	さゆり3	優良賞首席
佐々木祥二	弥栄	きたはるき6	優 良 賞
佐々木祥二	弥栄	みつただ7	部位賞(肢蹄賞)
佐々木祥二	弥栄	はるひらくに	部位賞(前軀賞)



◆産直きんさい市場からのお知らせ◆

いつもご来店
ありがとうございます。
ございます。

秋の彼岸市開催

実りの秋
収穫祭
同時開催

期間 9月20日(水)～9月23日(土)まで

黒川店

地域に愛され開店15周年 特設テント販売(予定)

- 9/20(水)午前中 いちじく生産部会による「いちじく即売会」
- 9/21(木)午前中 原木乾椎茸生産組合による「乾椎茸袋詰め放題」
- 9/22(金)午前中 いわみ中央栗生産組合による「栗収穫祭」
- 9/23(土)午前中 金城町生産者協議会による「ピオーネまつり」

周布店

9/23(土)は
臨時営業いたします

花いっぱい・農産物(野菜等)とりそろえてお待ちしております。
是非、お越しく下さい!

青葉会支部スタミナ料理で猛暑を乗り切ろう！



J Aしまねいわみ中央女性部浜田の青葉会支部（河上博子支部長）は、8月22日にスタミナ料理教室を開催しました。今年の夏も猛暑が続ぎ、食欲も落ちる時期、メンバーは、あっさりとしたメニューが良いと、家の光8月号に掲載されている料理メニューでスタミナ料理教室をすることにしました。モロヘイヤのねばねばと鶏肉の胸肉で和え物、ナスとしし唐と豚ばら肉でみそ味ベースの炒め物、きゅうりの簡単漬け物とオクラと卵のスープを作りました。どれもさっぱりとした味で、でき上がった料理を全員で試食しながら、『今日は、完成できた。美味しかった。家では、家の光を見ていてもなかなか作る気にならないが、みんなと集まると作れる。また冬に料理をして食べたいね。』と話がまとまり、次回はおせち料理で集まることを約束しました。



- ・モロヘイヤと鶏肉の甘酢和え
- ・梅みそ鍋しぎ
- ・オクラの卵スープ
- ・やみつぎキュウリ

是非、お試ください。ねばねば料理で暑い夏をがんばりましょう！



家の光記事活用 岡見手芸教室



J Aしまねいわみ中央女性部三隅岡見支部（石本まゆみ部長）は、8月2日に三隅町 岡見公民館にて手芸教室を開催いたしました。内容は、家の光2017年5月号の活用で「風呂敷から作る あずま袋」に挑戦しました。各自、風呂敷を持ち寄り裁断し、袋の形に縫い合わせながら、久しぶりに集まった部員同士会話は弾みますが、細かな作業になると無口になって集中しました。会話の中では、「最近は紙袋などが便利だし、風呂敷を使うことが少なくなってきたから、リメイクして袋にすると活用出来るね。」と話しました。出来上がった作品は、8月19日に開催されたふれあいの集いで展示することが出来ました。

「陶芸教室」母と子のつどい オリジナル作品作り！



J Aしまねいわみ中央女性部江津（平川節美部長）は、7月30日に第32回母と子のつどいを江津市二宮町の宮内釜にて開催しました。当日は暑い中親子11組25名の方に参加いただきました。陶芸教室では宮内孝先生にご指導いただき、作品作りを進めていきます。何度か参加している子供さんは、作るものを考えていて慣れた手つきで仕上げていきます。湯呑にしようか、お皿にしようかと決まらず何度も作り変えていた子供さんも最後には自分の思ったものが出来上がり大満足。釉薬も3色あり思い思いの色を塗りました。1か月後、窯だしされ届く日が楽しみです。オリエンテーションでは、ちゃぐりん8月号を活用し「お米」について勉強しました。江津女性部では、母と子のつどいの他各支部で子供支援活動を行っています。地域の子供達と料理やボランティアなどを一緒に、楽しい時間を過ごしています。



8月講義「伝統食」 ～次代に伝えたい母の味～



JA女子大学いわみ中央キャンパス8月の講義は『伝統食』～次代に伝えたい母の味～を、浜田市の石見公民館調理室にて行いました。

井上学長より、「お盆のしきたりなどの文化を次世代に伝えつつ、それぞれの家庭にある我が家の味や自分の文化を作ってほしい。」とお言葉をいただき講義の開始です。角寿司・アジのつみれ汁・ほうれん草とこんにゃくの白和え・盆だんごを3班に分かれて、各班4品作ることに挑戦しました。

講師は、ベテラン女性部さんをお願いしました。めだかの会 小川千代美さん、弥栄女性部 三浦洋子さん、三隅女性部 玉田みどりさんです。魚の下ごしらえに慣れていない学生は指導いただき「魚は触るのも苦手だったけど、教えてもらいながらだとうまく出来ました。家でもこれからはどんどんやってみようと思います。」と感想を述べました。

伝統食を作りながら、女性部さんから料理のちょっとしたコツなども学び良い経験となりました。出来上がると全員で試食し、女子大生は、『角寿司は、おばあちゃんが作ってくれていました。懐かしい味です。上手にできて良かったです。』と喜びの声もありました。

地域の伝統食を女子大生からまた次の世代へと伝えていってほしいと思います。



秋・石見空港より種子島まで **FDA** 直行チャーター機で行く!!

日本で最初に登録された
世界自然遺産

屋久島と**科学と歴史の島** **種子島**

3日間の旅

バスを降りると目の前の
3千年の歴史に感激!!

両プラン共に**2泊**とも**2名様**より**1部屋**ご利用

樹齢約2千年、樹高19.6m・樹高周囲8.1m **紀元杉**
「屋久杉」は、屋久島の多雨と花崗岩からなる土壌の環境により病気・腐朽から守られています。

おすすめの旅のポイント

- 1 地元 秋・石見空港からFDA直行チャーター機で楽々ひとっ飛び! 約1時間20分で種子島へ!
- 2 秋・石見空港までは「便利な送迎バスプラン」(※下車徒歩)をご利用いただけます!
- 3 行き、お昼には種子島着、帰りは夕刻に種子島発のフライトでベストシーズンの屋久島と種子島を3日間巡ります!
- 4 昼食・夕食共に地元の特産品を使った名物料理をご用意!
- 5 お手軽ホテル(プランA)もしくは厳選ホテル(プランB)をお選びいただけます! 両プランともに2泊とも2名様1室利用。



ヤクスギランド▲
樹齢数千年の屋久杉を含む屋久島の原生林を散策することができます。



千尋の滝(せんじゆのたき)▲
屋久島の三大名瀑の一つで、落差80mの豊富な水量を誇る滝と約200mの距離を一歩一歩の踏み石を辿れば、日本最長の滝、水ながらながれはまさに、その雄姿に感動させる力があります。



▲JAXA種子島宇宙センター
日本の衛星打ち上げロケット発射基地である種子島宇宙センターは、その景観から世界一美しいロケット発射基地と呼ばれています。

～選べるホテルをご用意～

お手軽ホテルに宿泊 プランA

- 1日目 種子島ゴルフリゾート
- 2日目 屋久島シーサイドホテル

厳選ホテルに宿泊 プランB

- 1日目 種子島いわさきホテル
- 2日目 久島いわさきホテル

旅行代金 大人お1名様・2名様1室利用、秋・石見空港起点(税込)

選べるホテルプラン	旅行代金
お手軽ホテル プランA	129,800円
厳選ホテル プランB	139,800円

旅行実施日 平成29年 **11月23日(木)～25日(土)**

- 申込金** 20,000円 (旅行代金に充当します。)
- 募集人員** 78名様 (最少催行人員 60名様)
- 添乗員** 秋・石見空港より同行します。
- 利用バス会社** 種子島：屋久島交通株 種子島支社
屋久島：屋久島交通株 屋久島支社 又は同等クラス
※弊社「貸切バス事業者リスト」当社ウェブサイト (http://ntour.jp/pdf/bustst.pdf) をご覧ください。

コース表

1	指定配車場所 ← 秋・石見空港 (10:35頃) → FDA直行チャーター機 → 種子島空港 (11:50～12:20頃) → 種子島開発総合センター → 赤尾木城文化伝承館 → JAXA種子島宇宙センター → 種子島最南端/門倉岬 = 種子島(泊) (17:00頃)	井 夕
2	ホテル(8:00) = 西之表港(9:40) → 宮之浦港(10:30) = れんが屋(昼食) = 紀元杉 = ヤクスギランド = 千尋の滝 = 屋久島(泊) (17:20頃)	朝 昼 夕
3	ホテル(8:00) = 屋久島観光センター = 宮之浦港(10:00) → 西之表港(10:50) = 池浪刃物製作所 = 味処丹元(昼食) = 千座の岩屋 = 種子島空港(15:00～16:00) → FDA直行チャーター機 → 秋・石見空港 (17:05頃) = 指定配車場所	朝 昼

便利な送迎バスプラン! (注1)

次のルートで秋・石見空港まで **往復3,000円(税込)**にてご利用いただけます!

ルート
大朝IC ⇄ 瑞穂IC ⇄ 旭IC ⇄ JALまねいわみ中央浜田支店 ⇄ 秋・石見空港
運行確約です!

国内旅行条件(要約)
本旅行は次の条件に基づきます。
この旅行(株)主催旅行(旅行業登録旅行業第939号以下「自社」といいます。)(企画・募集する旅行)であり、この旅行に参加できるお客様は本旅行業登録旅行業の範囲内となります。
その他の旅行条件は、下記によるほか、別途お送りする旅行条件説明書、契約書、乗車券(乗車券)旅行行程表、及び送迎バス運行条件説明書に準じます。

旅行条件	旅行業法	旅行業法
●旅行代金(申込金)は、旅行業法第20条第1項の規定に基づき、旅行代金の20%を前払金として徴収し、残りの旅行代金を旅行開始前までに全額お支払いいただきます。	旅行業法第20条第1項	旅行業法第20条第1項
●旅行代金(申込金)は、旅行業法第20条第1項の規定に基づき、旅行代金の20%を前払金として徴収し、残りの旅行代金を旅行開始前までに全額お支払いいただきます。	旅行業法第20条第1項	旅行業法第20条第1項
●旅行代金(申込金)は、旅行業法第20条第1項の規定に基づき、旅行代金の20%を前払金として徴収し、残りの旅行代金を旅行開始前までに全額お支払いいただきます。	旅行業法第20条第1項	旅行業法第20条第1項

特別な配慮が必要な方は
お客様の状況によっては、当初の手続きに含まれていない特別な配慮、措置が必要となる可能性があります。詳細は別途お送りする「旅行条件説明書」の「3.お申込み条件」を確認ください。特別な配慮、措置が必要となる可能性がある方は、ご相談させていただきますので、必ずお申し出ください。

国内旅行保険加入のすすめ
お客様が国内旅行中、急激かつ偶然な外来の事故(死亡、多額の治療費、移送費等)がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への賠償金請求や賠償金回収が困難な場合があります。これらへの対応、また、死亡・後遺障害等を補償する国内旅行保険にお客様自身で加入されることをお勧めします。国内旅行保険については、弊社旅行にお問い合わせください。

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う支店での取扱いに関する責任者です。この旅行に関してご不明な点がございましたらご連絡の上上記の取扱管理者におたずね下さい。写真は全てイメージです。

旅行のお問い合わせ・申し込みは、下記旅行センターへ
観光庁長官登録旅行業第939号
【株式会社農協観光代理業】
島根県知事登録旅行業代理業第17号
JALまねいわみ中央旅行センター
☎0855-22-8820
総合旅行業務取扱管理者 小佐 雅彦

旅行企画・実施 **NOKYO TOURIST CORPORATION** 旅行業公正取引協議会 日本旅行業協会
株 株式会社農協観光
一般社団法人日本旅行業協会 正会員 観光庁長官登録旅行業第939号
浜田支店 TEL 0855-22-1536
〒697-0026 浜田市田町1674 第2オリビエビル2F 総合旅行業務取扱管理者/小菅 保樹

キラリ いー顔!

教室名：ハラウ・ナー・プア・レイ・オ・ナニカイ



私達は、ハワイ伝統文化・舞踊の正式継承者、カブ・キニマカ・アルクイーザ先生より指導を受けております山根 美津子が率いる教室です。江津、浜田、益田、温泉津など島根県石見地方を中心に、松江や広島教室も展開しており、現在、生徒数は約100名となっております。

教室名の意味は、ナニカイとは美しい海という意味です。私達の故郷日本海と、ハワイの美しい海に郷土とハワイへの愛を表現しています。ナー・プア・レイ=沢山の美しい花で紡いだレイという意味で、ナニカイに集う全ての方を表現しています。

これからも、仲間との絆と思いやりの心を大切に、フラやタヒチアンダンスを通じて、心と身体笑顔の輪を広げて行きたいです。



代表：山根 美津子

福祉センター通信

講演会のお知らせ

主催/JAしまね いわみ中央福祉センター

笑う門にはいい介護Ⅱ

～介護の時は笑顔で包み 最期の最期は涙で送る～

内容

- ◆介護に足りないビジネス感覚
- ◆できない職員はこう受け止める
- ◆すべては(+)に作用する
- ◆組織改革 ◆自分強化
- ◆簡単!実地指導対策
- ◆海馬・扁桃体・側坐核
- ◆介護は感情労働
- ◆実録:介護ツアー
- ◆認知症対応 ◆実録:看取り

講師/中村 学



プロフィール

中村学 (なかむらまなぶ)、1963年生、5人家族、島根県出身。日本福祉大学中退。元吉本興業芸人、在宅介護の地獄を経験後、介護の世界へ。デイサービス施設長時代に組織改革。就任1年2か月後に「日本一笑いのデイサービス」としてNHK始め計4回テレビ取材。現在4つの介護事業統括部長。著書:「笑う門にはいい介護」は宮根誠司の推薦本。全国で講演活動中。介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター1級、介護アンガーマネジメントファシリテーター。BSS山陰放送ラジオで介護情報発信中。「くらし応援サービスポータルサイト くらしポnet」でコラム執筆中。ブログ「笑う門にはいい介護」で検索、FB申請OK。

講演実績

熊本県介護福祉士会介護の日、山口県介護福祉士会総会、群馬県小規模GH総会、北海道新聞社主催さわやかスマイリー介護セミナー、福井銀行総会、東京都西東京保険福祉大会記念講演、北海道音更町地域包括支援センター主催認知症講演会、岐阜県介護労働安定センターメンタルヘルス担当講師等

日時:平成29年9月22日(金) 18:00~20:00
場所:JAしまね いわみ中央地区本部 ふれあいホール
参加費:無料
対象者:介護職員向けですが、どなたでもご視聴下さい
申込み:事前の申し込み(電話)必要、お気軽にお越しください!
問合せ・申込先:0855-22-8918 JAしまね いわみ中央福祉センター

人事異動

9月26日(火) 浜田西支店
 午後3時から午後7時まで
 9月28日(木) 上府事業所
 午後3時から午後7時まで

年金相談会

人事異動 平成29年9月1日付
 大 堂 和 敏 (JAバンク 部長)
 佐 々 木 清 繁 (富農経済部 次長)
 幸 田 誠 (旭富農経済センター センター長)
 坂 井 文 幸 (農産課 課長)
 坂 田 憲 昭 (金融企画課 課長)
 高 木 優 典 (リスク管理部 本店)
 野 田 英 夫 (融資審査課)

定年再雇用 平成29年9月1日付
 船 津 清 人 (江津西支店)

採用者 平成29年9月1日付
 三 木 美 那 子 (江津支店)

退職者 平成29年8月31日付
 船 津 清 人 (江津西支店)
 宮 田 清 豪 (浜田支店)
 中 島 美 奈 代 (福祉センター)
 湯 浅 薫 (江津西支店)

タテのカギ

- ① くるくるとカールした髪
- ④ ふすまや障子はこの上を動かします
- ⑦ 電車の中にぶら下げられています
- ⑨ くらを置いて乗ります
- ⑩ 自分の娘の夫のこと
- ⑪ ——に無勢だ、勝てないなあ
- ⑬ せき止めに良いといわれるバラ科の果物
- ⑮ 車を止めて——ブレーキを引いた
- ⑯ スズシロはダイコン、スズナは
- ⑰ 黄色い貴金属。元素記号はAu
- ⑲ 競技などを途中で棄権すること
- ⑳ 眠るときに着る物
- ㉑ 猫に——＝豚に真珠

ヨコのカギ

- ① 唱歌『虫のこえ』で最初に出てくる虫
- ② 江戸——はガラスをカットして作られる工芸品です
- ③ よく内科と対比されます
- ⑤ マタタビ科の果物。鳥の名にちなんで名付けられました
- ⑥ リビングともいいます
- ⑧ 季節によって住む場所を変える鳥
- ⑫ 箸を数えるときに使う言葉
- ⑬ 舟をこぐ道具
- ⑭ こしあんと——、どちらが好き?
- ⑮ 秋においしい魚の代表格
- ⑯ 牛などに食べさせる牧草のこと
- ⑰ 臼と一緒に働きます
- ⑲ 吸盤がたくさんある海の生き物

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか?

1	7	10		17	20
2				15	
3			13		
	8	11		18	
4		12		19	21
5	9			16	
6			14		

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒697-0024 浜田市黒川町3741番地
JAしまね いわみ中央地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
平成29年10月5日(木) (当日消印有効)

◆先月号の答え◆
「ブドウガリ」

ナ	ガ	ツ	キ	シ	キ
イ	カ	リ	モ	ヨ	リ
ル	ザ	コ	ウ	ン	
	ホ	オ	ブ	ク	ロ
ソ	ラ	シ	ツ	ズ	
ウ	ガ	イ	ン	カ	イ
コ	イ	ブ	ン	ド	キ

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。

けんこうさんぽ
健康散歩
JA島根厚生連

食欲の秋

秋を表す言葉に「食欲の秋」があります。なぜ秋に食欲が増すのか：それには様々な要因があると言われています。

○日照時間

精神の安定を保つためにセロトニンという脳内神経伝達物質が関わっています。この分泌量と関係しているのが日照時間と食事です。夏から秋になると日照時間が短くなりセロトニンの分泌量が減少してしまうので、それを食事で補おうとして食欲が増すと考えられています。

○基礎代謝の変化

秋から冬にかけて気温が下がると、基礎代謝が上がります(エネルギーを消費して体温を保持しようとして)。基礎代謝が上がるということはそれだけ多くのエネルギーが使われるため、その分を補給しようとして食欲が増すようになります。

○夏バテの解消

暑さによる夏バテで食欲が低下してしまう方が多いです。秋になり過ごしやすいく気温になると、夏バテも解消し本来の食欲に回復します。夏バテになっていた時期と比べると食欲が増したように感じるのだと考えられます。

その他にも、「冬を越えるため、動物は本能的に体に多くの栄養を取り込もうとする」、「秋はおいしい食べ物が増え、ついつい食べてしまう」など様々な理由があり、こういったことから「食欲の秋」につながったのではないのでしょうか。

食べ過ぎで肥満に…ということには気をつけたいので、「よく噛んでゆっくり食べる」、「夜遅くに食べないようにする」、「野菜から先に食べる」、「運動等でこまめに体を動かす」等の工夫をしつつ、おいしいものを食べて秋の味覚を楽しみましょう。

理事会情報 (7月31日開催)

協議事項

- ① 平成30年度島根県農業政策および予算に関する要望(案)について
- ② 平成29年7月島根県西部豪雨災害の農業被害に対する復興対策の実施について
- ③ 平成29年産島根米の諸区分(栽培・品質)、諸格差設定の考え方について
- ④ JAしまねにおけるGAP取組み方針について
- ⑤ 平成28年度期末決算 監事監査報告書 整備改善を要する事項(個別意見書)への回答書について
- ⑥ 平成28年度JA全国監査機構決算監査 内部統制等に関する改善指示事項の回答書について
- ⑦ 個人情報保護法改正に伴う個人情報保護方針等の一部改正について
- ⑧ 組合と理事との取引(契約)の承認について
- ⑨ 子会社への役員員の派遣について
- ⑩ 系統団体および関連団体等への常勤役員の就任について
- ⑪ 総代選挙実施にかかる選挙管理者・選挙立会人等の指名について

報告事項

- ① 第1回活力ある島根農業・農村振興連絡会議の報告について
- ② 平成29年度果樹経営支援対策事業の申請状況について
- ③ 県域担い手サポート事業に係る取り組み状況報告(第1四半期)について
- ④ 農業簿記記帳代行料金の統一について
- ⑤ 山陰ブロックTACパワーアップ大会の開催について
- ⑥ 米穀園芸情勢について(園芸重点5品目の推進)
- ⑦ アワヨトウの発生・被害状況の報告について

- ⑧ 雲南畜産総合センター第1四半期報告について
- ⑨ 県央地区畜産総合センター第1四半期報告について
- ⑩ 畜産情勢について
- ⑪ 肥料・原料情勢について
- ⑫ 第7回農機総合展示会実績・第10回島根県中古農機大展示会の開催について
- ⑬ 平成29年7月島根県西部豪雨災害被災者に対する災害対策農業資金の対応について
- ⑭ 平成29年度第1四半期における余裕金の運用状況について
- ⑮ 組合と理事との取引(契約)の報告について
- ⑯ 平成28年度認定反社会的勢力の定期報告について
- ⑰ 平成29年7月島根県西部豪雨災害にかかる報告について
- ⑱ 購買店舗における不祥事の再発防止策について
- ⑲ 平成29年度第1四半期仮決算(6月末)について
- ⑳ 特別損失にかかる会計処理について
- ㉑ 小水力発電所工事の入札について
- ㉒ 子会社等に関する各種報告について
- ㉓ 固定資産の取得と特定財産の活用について
- ㉔ 平成29年度6月末組合員の加入及び脱退の状況について
- ㉕ 総代会および地区本部総代説明会における主要意見等について
- ㉖ 労働組合からの夏期要求妥結結果について
- その他① 農政をめぐる情勢について
- その他② 青年・女性理事活動報告等
- その他③ 農林水産省経営局公表の「農協の自己改革に関するアンケート調査」(結果)について

知って納得JA

—協同組合の力—

Q JAの組合員って何をすればいいの?

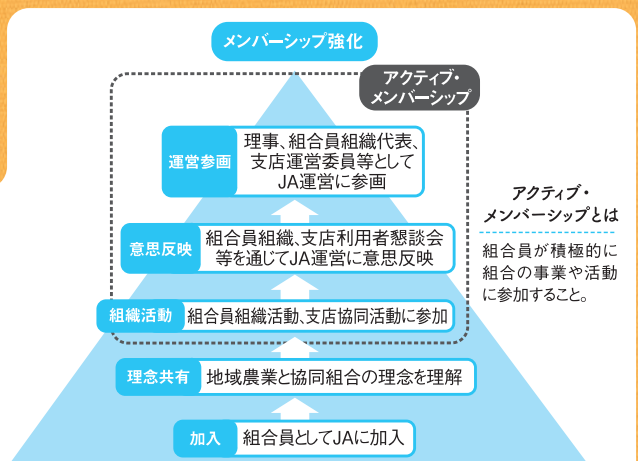
A JAの事業と活動に積極的に関わり、元気なJAを築くことが大切です。

JAは願い(課題やニーズ)を共有する組合員が集まって、組合員自らが事業と活動を通じて願いをかなえることを目的とする協同組合であり、組合員がJAの主人公です。

また、JAの主人公である組合員は、みんなで話し合っ て決めたことを実行し、組合員組織に参加して活動を活 発化するなど、組合員相互の発展のために重要な役割 を担っています。組合員はJAの運営に積極的に関わら るとともに、仲間づくりに努め協同の輪を拡げましょう。

JAグループでは第27回JA全国大会でアクティブ・メ ンバーシップの運動を決議しました。組合員が元気な主 人公となることで、より元気なJAを築きましょう。

(監修=広島大学 助教 小林元)



アクティブ・メンバーシップとは 組合員が積極的に 組合の事業や活動 に参加すること。

組合員の役割

みんなで決めたこと を実行する。

組合員組織に 参加し活動を 活発化する。

JAの運営について すすんで発言し、建 設的な提言をする。

家族ぐるみでJA事業 を利用する。

仲間づくりに努め、 協同の輪を広げる。

耕そう、大地と地域のmiraい。

JALしあね組合員様限定 足立美術館 優待プラン

入館料金(大人1名様)

通常 2,300円 → **1,500円** (税込)

特別割引券をご用意しております。
ご希望の方は最寄りのJA旅行センターにご依頼下さい。

14 YEAR 日本庭園が米誌ランキングで
14年連続日本一に選ばれました

★ ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン
三つ星として掲載されました

■大人1名様／通常2,300円の入館料が1,500円にてご入館いただけます。

(高校生／通常1,000円→700円・小中学生／通常500円→300円) ※ご利用対象はご本人様及びそのご家族とさせていただきます。

秋季特別展 平成29年 8月31日(木)～11月30日(木) 制定80年記念 文化勲章受章の作家たち

文化勲章の制定80年を記念して、当館コレクションの中から横山大観、竹内栖鳳、上村松園をはじめとする日本画家に彫刻家の平櫛田中を加え、19名の文化勲章受章作家の作品を一堂に展示します。



横山大観「紅葉」(左隻・昭和6年)



上村松園「待月」(昭和19年)

新館 再興第102回 院展

会期：平成29年10月14日(土)～11月5日(日)

平成29年10月12日～13日、11月6日～7日
平成30年2月7日は、展示替えのため新館のみ休館。

足立美術館
ADACHI MUSEUM OF ART

[プラン有効期限]平成30年3月31日まで

JR安来駅より無料シャトルバスあり。ダイヤはホームページでご確認下さい。 <http://www.adachi-museum.or.jp/> **Tour** 株式会社農協観光

JALしあねくにびき旅行センター ☎0852-55-3041
JALしあねやすぎ旅行センター ☎0854-28-6699
JALしあね雲南旅行センター ☎0854-42-9118

JALしあね出雲旅行センター ☎0853-21-3305
JALしあね斐川旅行センター ☎0853-73-9625
JALしあね石見銀山旅行センター ☎0854-82-3501

JALしあね島根おち旅行センター ☎0855-83-0008
JALしあねいわみ中央旅行センター ☎0855-22-8820
JALしあね西いわみ旅行センター ☎0856-22-8587



秋の農作業安全月間

一人ひとりの **安全意識** と
仲間との **「声かけ」** が農作業事故を防ぎます。

こんな事故が
起こっています！

◆トラクターによる事故



トラクターが転倒・転落し、投げ出されて機体の下敷きになった…など

◆高所での作業中の事故



脚立での作業中、設置時のバランスが不安定だったり天板上に上がった際に転落して頭を打った…など

◆耕うん機・コンバインによる事故



耕うん機をバックさせていたところ木と機体の間に挟まれた、コンバインの手こぎ作業で手を巻きこまれた…など

◆草刈り時の事故



草刈り機の使用中に足を滑らせて足を切る、夏の屋外の作業で熱中症になる、雑草を燃やして火にまかれた…など

2017

農業技術センターフェア

楽しく学ぶ・おいしく味わう 島根の農業

- [と き] 9月23日(土) 9:30~14:30
- [ところ] 島根県農業技術センター (出雲市芦渡町2440)

★研究展示・セミナー

- ・米の1.9mm選別やブドウの新品種についてのセミナーと試食
- ・新技術等の各種パネル展示、生産物の現物展示
- ・栽培技術相談
- ・玄米の食味値測定 (1人2点まで:1点につき玄米200g)
- ・電動ラジコン式草刈機 (新型) の展示

★農産物・加工品販売

- ・職員が丹精込めて作った果物、野菜、花等の販売
- ・地域の特産物販売 (農・畜産加工品)

★お楽しみイベント

- ・野菜収穫体験
- ・ビンゴ大会 (農産物の景品があるよ!)
- ・クイズラリー (賞状、景品あり)
- ・キッズコーナー (DNAストラップ、スライム、カボチャの顔づくり)
- ・出雲農林高校太鼓部の演奏
- ・ふれあい動物園

果物の
販売整理券は
当日8:30から
配布



■ お問合せ ■

☎0853-22-6708 島根県農業技術センター

2017 ぶどう収穫感謝祭

SHIMANE WINERY

ワインまつり



年に1度の大会!

楽しい、おいしいがいっぱい!!

10/14(土)・15(日) 開催
10:00~17:00 9:00~16:00

2日間先着計1,500食限定

ワインまつり特別
バーベキュー
BBQ
特別価格 500円 (税込) 一人前

島根和牛・豚肉・おにぎり・野菜のセットソフトドリンク飲み放題

バーベキューハウス
シャトー 弥山



その他イベント盛りだくさん!

*都合によりイベントの内容、時間を変更する場合がありますのでご了承ください。*お酒は20歳になってから。*飲酒運転は法律で禁止されています。



島根ワイナリー

TEL 0853-53-5577

詳しくは 島根ワイナリー

検索

島根県出雲市大社町菱根264-2

コリンキーサラダ



コリンキーは2002年に品種登録された生で食べられる黄色いかぼちゃです。使い慣れない野菜なので簡単なサラダにしています。くせがなく食べやすいです。炒め物、煮物、天ぷら、フライ、漬物としても食べられます。

●材料 (4人分)

コリンキー……………1/2玉
パプリカ……………1/4玉
ツナ缶……………1/2缶
マヨネーズ……………大さじ4
黒粒こしょう……………少々

●作り方

- ①コリンキーは洗い、半分に切りスプーンで中の種をきれいに取り除く。(皮はむかない)
- ②コリンキーを皮ごと千切りにする。パプリカは種を取り除き、縦半分に切り繊維にそって薄切りし、長さを半分に切る。
- ③ボールに、コリンキー、パプリカ、油を切ったツナ缶、マヨネーズ、黒粒こしょうを入れ、食べる直前に混ぜ合わせる。

秋なすグラタン



市販のミートソースを使い簡単に出来るグラタンです。味付けはミートソースのみでおいしいです。

●材料 (4人分)

長なす……………2本 ピザチーズ……………適量
ミニトマト……………8個 パン粉……………少々
ゴーヤ……………1/2本
サラダ油……………少々
ミートソース……………1袋
(市販品)

●作り方

- ①なすは1~2cm厚さの斜め切りにし、水にさらしてあく抜きし、フライパンに油を入れ両面を軽く焼く。
- ②ミニトマトは1/4に切る。
- ③ゴーヤは0.5mmの輪切りにし種をぬく。
- ④グラタン皿になす、ゴーヤ、ミニトマトを入れ、ミートソースをかけ、ピザチーズを乗せ、パン粉をふる。
- ⑤オーブントースターで8分ぐらい焼くか、オーブン220℃で15分焼く。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、コウノトリ写真集 (写真提供者: 太田和良さん・井上誠さん・菅田祐治さん) の一部を使用させていただきました。今年3月に雲南市大東町で巣や産卵を確認しました。野生のコウノトリが国内で姿を消して以来、野外でのふ化は豊岡市周辺などを除くと、徳島県鳴門市に続き2例目。

編集後記

今月の料理レシピで使用している「コリンキー」というかぼちゃ。2002年に品種登録されたそうで、料理をしない私は知りませんでしたが、皆様はご存じだったでしょうか。土井先生によれば、県内のスーパー等でも普通に出回っているとのことですので、見かけた際にはぜひ作ってみてください。(藤)



【今月の表紙の原画】
原画の全体は次のとおりです。